



施工説明書

〔裏面にお施主様用の「使用上のご注意」が記載してありますので、必ずお施主様にお渡しください。〕

ダイケン WPC広巾えんこう

この度はダイケンWPC広巾えんこうをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
施工の際には本説明書をよく読み、手順通りに正しく施工してください。

必ずお守りいただきたいこと

- ⚠ 注意
- (1) 本製品は一般内装用(上履き用)です。重歩行用(土足用)には使用しないでください。
 - (2) 床下の換気を十分に行えるように換気口を設けてください。床下が多湿な場所では、防湿フィルム の敷設、コンクリートの打設等の防湿処理を十分に行ってください。床下が多湿であつたり、通風が悪い場合には腐朽の原因となります。
 - (3) ピアノ、大型冷蔵庫等の重量物を置く場合には、下地の補強を十分に行ってください。
 - (4) 12 mm厚製品(光松 12、光檜 12)は合板捨て張り工法にて施工してください。

施工前のご確認事項

- 光檜 12 は、弊社暖房床パネルの仕上げ材として使用いただけます。
但し、他社の床暖房装置の中には使用できないものもありますので、あらかじめ弊社、又は床暖房メーカーに必ず確認してください。

施工方法

(1) 下地工事

① 15mm厚製品:根太工法(12mm厚製品は不可)

根太材は厚みの揃った乾燥材をご使用ください。
根太間隔は 303 mm 以下とし、同じ大引上に継ぎ目がそろわない様に施工してください。
又、大引間隔は 909 mm 以下としてください。

② 12mm厚製品:捨て張り工法

12 mm 厚耐水合板を木工用接着剤と釘を併用してレンガ張りとしてください。
継ぎ目の段差がないようにしてください。

(2) ロットNo.の確認

- 本製品はロット管理をしておりますので、施工前に梱包ケース各々のロットNo.を見て、
全て同一ロットである事を確認し、ロットNo.順に施工してください。

＜ロットNo.＞

ロットNo.は梱包ケースの上側木口面の 1 ヶ所にローマ字 1 文字と 3 桁の数字で表示してあります。
(製造年月日とは異なります)

＜同一ロット＞

同一ロットとは、下記の例に示すようにロットNo.の4文字が同じで、下3桁の通番が連番になっているものをいいます。

例： A 2 5 8 1 0 8
 └──┘ └──┘

(例えば 4 坪施工時には 108、109、110 を施工してください)

＜施工順序＞

ロットの連番順に施工してください。

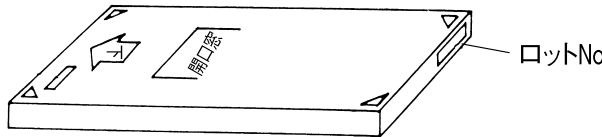
例： A 2 5 8 1 0 8

A 2 5 8 1 0 9 を施工する場合

A 2 5 8 1 1 0

施工順序は、A 2 5 8 1 0 8 → A 2 5 8 1 0 9 → A 2 5 8 1 1 0 の順で施工してください。

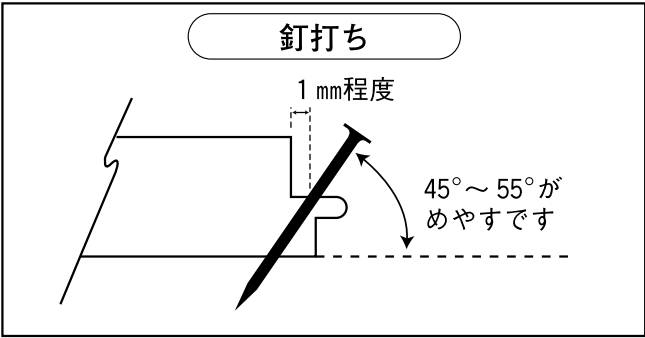
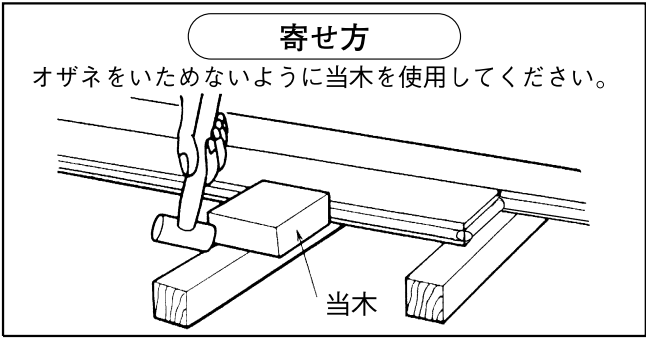
もし、上記順番以外で施工されますと、色や杢目が合わなくなることがありますので、ご注意ください。



(3) 施 工

- 木工用接着剤と 38 mm フロアー用スクリーナー釘を併用して、確実に下地材に固定してください。
- 根太工法の場合、エンド方向の継ぎ手が根太の中央部にくるように施工してください。

(裏面へ続く)



〈光櫟 12 を床暖房仕上げ材として、ご使用の場合〉 接着剤は弊社あたか用ボンドをご使用ください。
※釘頭を目立ち難くするために、雄ざね付け根から約1mm程度あけて釘打ちを行ってください。

養生方法

- (1) 施工後は、必ず弊社の養生マット・養生テープと、養生ボードを併用してフロー表面を保護することをお勧めします。布製ガムテープや広巾クラフトテープ等は粘着力が強く、フロー表面を損傷する恐れがありますので、使用しないでください。
- (2) 養生テープを剥がす時は、ゆっくりと剥がしてください。急激に剥がすとフロー表面を損傷する恐れがあります。

使用上のご注意

お施主様用

床暖房

- 光櫟 12 は床暖房用仕上げ材として使用できます。床暖房の使用に当たっては、床暖房装置の取扱説明書をよく読み、注意事項を守って使用してください。
- 床暖房とこたつ、電気カーペットを併用することはお避けください。また、座布団などの保温性の良いものを長時間同じ場所に置かないでください。カーペットは毛足8mm以下のものをお使いください。異常加熱により、継ぎ目部にすき間や表面にひび割れをおこすことがあります。

凹み・傷

- 本製品は上履き用です。土足では使用しないでください。
- 重量物（ピアノ等）を置く場合は、敷板等を脚部の下に敷き、重量を分散させてください。
- キャスター付きの椅子や家具は、フロー表面を傷つけることがあります。使用される場合は、カーペットを部分敷きする等して、フロー表面を保護してください。
- テーブルや椅子を引きずりますと、フロー表面を損傷する恐れがあります。足先にフェルトやゴムキャップ等を付けてフロー表面を保護してください。(ゴムキャップは種類によりフローを汚染するものがありますのでご注意ください)

汚れ・水濡れ

- フローを長時間水に濡らしたまま放置しますと変色、シミ、ひび割れ等の原因となりますので、速やかに拭き取ってください。
- 日常のお手入れは乾拭きとし、水拭きはしないでください。汚れがひどい時には、雑巾を水に濡らし固く絞ってから拭き取ってください。
- クレヨン、マジック、油等でフローを汚した場合は、家庭用ベンジン等で拭き取ってください。ワックス掛けしている場合は、ワックスも取れますので、再びワックス掛けしてください。

ワックス掛け

- 長期間に渡って美観を保つ為には、定期的にワックス掛けすることが効果的です。
- ワックスは、別売りのダイケンDKワックスネオをご使用ください。6ヶ月に1度が目安です。
- 床暖房使用中はワックス掛けしないでください。塗りムラの原因となります。

大建工業株式会社

〒530-8210 大阪市北区堂島1丁目
6番20号（堂島アバンザ）
TEL (06) 6452-6000 (代表)

〔ご相談窓口〕

- 内装材事業部 西部営業課 TEL (059) 255-0641
- 内装材事業部 東部営業課 TEL (03) 3249-4876